

# 第9回原子力防災会議幹事会

## 議事録

原子力防災会議事務局

平成28年度 第9回原子力防災会議幹事会 議事録

平成28年10月5日

10:57～11:06

中央合同庁舎8号館8階特別大会議室

議事次第

議題 第7回原子力防災会議について

## 出席者一覧

	高橋 清孝	内閣危機管理監
(議長)	平井 興宣	内閣府政策統括官(原子力防災担当)
(副議長)	早水 輝好	環境省大臣官房審議官
(代理)		
	田中 邦典	内閣府政策統括官(原子力防災担当)付参事官(地域防災・訓練担当)
	中島 明彦	内閣官房副長官補(事態対処・危機管理担当)
(代理)	鈴木 達也	内閣官房内閣参事官(内政)
(代理)	田村 政美	内閣官房内閣参事官(外政)
(代理)	原 典久	内閣広報室内閣参事官(総括担当)
(代理)	向山 喜浩	内閣官房内閣情報調査室内閣参事官
(代理)	緒方 俊則	内閣府大臣官房審議官(防災担当)
(代理)	東條 功	内閣府食品安全委員会事務局次長
(代理)	白川 靖浩	警察庁長官官房審議官(警備局・2020年東京オリンピック競技大会担当)
(代理)	福岡 徹	消費者長審議官
	山田 真貴子	総務省大臣官房長
	大庭 誠司	消防庁次長
(代理)	川崎 方啓	外務省総合外交政策局軍縮不拡散・科学部審議官
(代理)	寺谷 正美	財務省大臣官房総合政策課政策推進室長
	板倉 周一郎	文部科学省大臣官房審議官(研究開発担当)
	福田 祐典	厚生労働省大臣官房技術・国際保健総括審議官
	塩川 白良	農林水産省大臣官房危機管理・政策評価審議官
(代理)	小澤 典明	経済産業省資源エネルギー庁 資源エネルギー政策統括調整官
	東井 芳隆	国土交通省大臣官房危機管理・運輸安全政策審議官
(代理)	弟子丸 卓也	気象庁総務部参事官(気象・地震火山防災)
	秋本 茂雄	海上保安庁海上保安監

(代理) 佐藤 暁 原子力規制庁長官官房放射線グループ 原子力災害対策・核  
物質防護課長

(代理) 齋藤 雅一 防衛省大臣官房審議官

## 配付資料一覧

- ・ 出席者一覧
- ・ 第7回原子力防災会議 配付資料一式

### 議事次第

### 配付資料一覧

資料1 - 1 「泊地域の緊急時対応」のとりまとめについて

資料1 - 2 泊地域の緊急時対応（概要版）

資料1 - 3 泊地域の緊急時対応（全体版）

資料2 平成28年度原子力総合防災訓練の概要

参考資料 平成28年度原子力総合防災訓練計画

田中内閣府政策統括官（原子力防災担当）付参事官 皆様、おはようございます。

定刻より若干前ではございますが、皆様おそろいでございますので、ただいまより第9回原子力防災会議幹事会を始めさせていただきたいと思っております。

本日の議題は、議事次第にございますように、第7回原子力防災会議についてということでございます。第7回原子力防災会議、現在、10月中旬の閣議前or後ということで官邸と調整をしているところでございますが、大きく二つの議題を予定しております。

一つは、先般、9月2日に泊地域原子力防災協議会で確認をしております泊地域の緊急時対応の確認結果の報告、こちら防災基本計画にのっとり原子力防災会議に報告し了承を受けるといったものでございます。もう一つが、11月中旬予定の原子力総合防災訓練についての報告を予定しているところでございます。

本日の幹事会に先立ちまして、先般9月30日に原子力防災会議の連絡会議ということで課長級の会議でも御説明をさせていただいているところでございますが、それと同様の内容で本日幹事会を開催したいと思っております。

では、まず、お手元の資料を確認いただけたらと思っております。配付資料一覧が1枚目でございますけれども、関連の資料、お手元に不足等ございましたらおっしゃっていただけたらと思っております。よろしいでしょうか。

#### （議題）

田中内閣府政策統括官（原子力防災担当）付参事官 それでは、これより私どもの内閣府の統括官、平井のほうから御説明をさせていただきたいと思っております。

平井内閣府政策統括官（原子力防災担当） 皆様、おはようございます。内閣府の原子力防災担当の政策統括官をしております平井でございます。

今日は国会中、お忙しいにもかかわらずお集まりいただきありがとうございます。

では、座って御説明させていただきます。

議題につきましては先ほどございましたように、一つは北海道の泊地域の緊急時対応の確認結果の報告、もう一つは平成28年度の原子力総合防災訓練の実施、この二つの議題について報告し、お諮りいただくというものでございます。

まず(1)、資料、先ほど言いましたように3枚ほどめくっていただいた後に、第7回原子力防災会議、この資料に基づいて行いたいと思っておりますが、まず、(1)の泊地域の緊急時対

応の確認結果でございますが、会議全体をいつものように官房長官に御司会いただき、まず山本原子力防災担当大臣から簡単な説明をいただいた後、私のほうから資料の1-1、A3版の2枚の紙でございますが、これについて説明したいと思います。まだ全体の時間、ちょっと調整中でございますが、10分～15分になろうかと思っておりますので、簡単に御説明ということになろうと思っております。

内容につきましては、先月の9月2日に泊地域の原子力防災協議会で議論され確認していただいたものでございます。今、話がございましたように、先般、課長レベルの連絡会議でもお話がありましたように、泊地域、PUZ圏内約3,000人、30km圏内に全体で7万9,000人の人口を抱える地域でございます。北海道ということで、特に日本海側でもございまして、冬季の気象条件が非常に厳しい地域でございます。さらに、ここはスキー場等、道内あるいは国内と言ってもいいかもしれませんが、有数の観光地を抱え、外国人観光客も多いという地域でございます。そのような地域で万が一、事故が発生した場合に、いかに安全に避難、あるいは退避、避難行動をとっていただくかがポイントになると思っております。その辺りを中心に説明していきたいと思っております。

その後、規制委員長、田中委員長のお話、それから、実際に、万が一の場合に避難活動に従事していただく実動省庁の閣僚の方々から御説明いただいた後、最後に山本大臣からお話をいただくという形で進めたいと思っております。

次の(2)の議題、訓練のほうでございますが、平成28年度原子力総合防災訓練の実施。これにつきましては、資料2に基づいて、伊藤原子力担当副大臣のほうから概要を説明していただきたいと思っております。

想定につきましては現在いろいろ検討しているところですが、基本的には地震発生を契機に原子力発電所で事故が進展する一方、津波等の自然災害が発生して、その住民避難等も行われるという複合災害を想定した訓練を行うこととしておりまして、伊藤副大臣の説明の後、松本防災担当大臣からも御発言していただくことにしたいと思っております。

最後に、これが(1)(2)の議題でございますが、終わった後にプレスが入った段階で総理のほうから御発言いただくことにしたいと思っております。

これで第7回原子力防災会議を終了したいと思っております。限られた時間の中でございますが、進行に方、御協力よろしくお願ひしたいと思っております。

私のほうからは以上です。

田中内閣府政策統括官（原子力防災担当）付参事官 ただいまの説明につきまして、当

日の進め方も含め、何か御質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(なし)

田中内閣府政策統括官(原子力防災担当)付参事官 ありがとうございます。

それでは、最後に高橋危機管理監のほうから、何か一言お願いいたします。

高橋内閣危機管理監 管理監を拝命いたしました高橋でございます。よろしくお願いたします。

原子力関係はもちろんですけれども、危機管理全般で各省庁の皆さんに大変お世話になると思いますが、よろしくお願いたします。

以上です。

田中内閣府政策統括官(原子力防災担当)付参事官 ありがとうございます。

それでは、皆様お忙しいところ本日お集まりいただきまして誠にありがとうございました。

ただいまをもちまして、第9回原子力防災会議幹事会を終了いたしたいと思ます。

引き続き原子力防災の対応につき、御協力いただけますようよろしくお願いたします。

ありがとうございました。

以上